

十字架の愛

1. 十字架の愛は、犠牲の愛（第一ヨハネ3：16－18）

世界の多くの人々は、愛について間違った考えをもっています。愛とは、何かふわふわとしたぼんやりした感覚であったり、ロマンチックな愛または家族間の愛や友情のことであると考えます。また、ある人々は、愛とは、面倒を見てもらうことや欠けを補ってもらうことであると考えますが、これらはみな他の人から与えてもらうことです。しかし、本当の愛とは、私たちが他の人達に与えることです。これを聖書では「愛」と定義しています。

A) 犠牲の愛は私達の愛し方を変える。（17節）

キリストの犠牲の愛を体験したら、私たちは自然とそのように生きるようになります。それは、もし、キリストの愛を体験したなら、私達の人生に非常に大きなインパクトを与え、私達の愛し方が完全に変わるため、私たちは、愛を与えることなしには生きられないという意味です。

B) 犠牲の愛には代価がある。（18節）

人々は言葉で「愛しています」と言うことを必要としていますが、それだけでなく、行動で愛を示す必要があります。それは、ちょうど、イエス様がご自身の場所である天国を離れ、この罪深い世界へ来られたように。なぜ、飼料おけを選んだのでしょうか？それは、イエス様の謙遜さを現すためです。イエス様は大工でした。なぜ、大工なのでしょう？木を触るたびに、十字架を思いさせ、この地上での目的を思い出させ、金づちで釘を打つたびに、後にイエス様が通られる痛みと死を思い出させるからかもしれません。

イエス様がこれらのことをされたのは、ご自身のためではなく、あなたとイエスキリストを信じるすべての人々が永遠の命をもち、罪と恥から清められ、天の父と再び愛の関係を回復するためです。

キリストの十字架の犠牲の愛に出会った人々は、その人生が完全に変えられるのは、そのためです。

2. 十字架の愛は赦しである。（ルカ23：32－34）

イエス様は、なにも罪を犯さなかったにもかかわらず、死ぬ時に罪人の中におられ、罪人とともに十字架にかけられ、罪人として死にました。それに対して、何も代償をもとめず、仕返しすることもしませんでした。イエス様が「完了した」と言ったとき、あなたを傷つけた人の罪の代償をも完全に支払われたのです。結婚生活や他の人から受ける迫害では、多くの場合、あなたが悪いわけではありませんが、正しいからといって、いつも正しいと認められるわけではありません。あなたが正しいことをしたとしても、あなたの配偶者や他の人々から嫌われるときがあります。最善を尽くしても、相手から感謝されなかったり、相手を喜ばせることができないこともあります。

イエス様が、「彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのかわらないのです。」と言いましたが、これはバカバカしく聞こえませんか？もちろん、彼らは何をしているのかわっていました。彼らは、イエス様を殺したかったのです。しかし、イエス様は彼らをお赦しになりました。なぜ、イエス様は彼らを赦すことができたのでしょうか？なぜなら、彼らを愛していたからです。イエス様は、かれらの目が敵によって盲目にされており、イエス様が本当はだれなのかかわらないのだと知っていました。彼らが見ていたものは、彼ら自身の評判が犯されることだけでした。ちょうど、人があなたの良いところを見ず、欠点を見るように。「これは、不公平である。」イエス様は知っています。「傷ついた」イエス様は知っています。「これは裏切りだ」イエス様は知っています。

これが、キリストを十字架につけた私達の罪であり、私たちは、イエスを十字架につけた民衆よりまさるわけではないのです。

あなたの人生で、赦すのが難しいと思うことはありますか？あなたが、ある人のことを考えたとき不快を感じるなら、それはその人を赦してないということです。

私は、赦すのがとても難しいことを知っています。だから私たちは、イエス様の力が必要なのです。

十字架上で、イエス様は「完了した」と言いました。イエス様はすでに、赦さない心という壁をぶち壊しました。なぜなら、そうすると決めたからです。あなたが、心の傷と痛みから解放されたいのなら、イエス様の赦しの力をあなたの人生に招きましょう。あなたが、赦すと決めたとき、苦々しさや痛みから解放されるのです。

3. 十字架の愛は最も崇高な愛である。(ヨハネ15:13、ローマ5:8)

もっとも偉大な愛は、その友、あなたが知っている人、また、深い関係にある人のために命を投げ出すことです。しかし、敵のために死ぬなら、これはどういう種類の愛でしょうか？「私たちが罪人であったとき」とはどういう意味でしょうか？それは、「自分自身や他の人達を傷つけていたとき」という意味です。私たちは、誰に対して罪を犯すのでしょうか？それは、神です。私たちが神様を傷つけていたとき、神様を辱めるような生き方をしていた時、神様は私達の罰を代わりに受け、十字架で死に、その愛を示してくださいました。

ですから、私達も迫害する者や私たちに悪を行う者を愛するべきです。その人がどれほど私のために良くしてくれたかどうかではなく、その人が私の愛に値するかどうかではなく、愛することを意思で選択するのです。その選択により、真実の愛が私達の心から流れ出し、相手を愛することができるようになるのです。ダムやボトルは、水が流れ出るためには、せき止めているものを外さなければなりません。

これを同じように、水を流す選択をするのです。私達の選択で、愛が流れだすのです。十字架の愛が迫ってくるので私たちは愛することができるのです。

十字架の愛には勝利があります。なぜでしょうか？なぜなら、サタンは決して神の愛を理解しないからです。ちょうど、放蕩息子が父の愛がわからなかったように。サタンは愛を憎んでいます。しかし、十字架上で、私たちは、イエス様がどれほど私達を愛しているかがわかります。この愛は、人生を変えます。この愛は、痛みの縛りから解放します。この愛は、恥と非難のくさを打ち砕きます。

神が私達を赦してくださったのなら、どうして自分自身を赦せないことがあるのでしょうか？

イエス様が私達を受け入れてくれたのなら、どうして、自分自身を受け入れられないことがあるのでしょうか？

私達の持っている苦々しさ、自己憐憫、不安定な自己価値、心配、低い自己価値、失敗、無力感、怒り、嫉妬、、、などを十字架につけよ！

神様は私達を愛しておられ、私達を罪と痛みから解放したいと願っています。次に十字架を見るときは、イエス様の愛と犠牲、イエス様が赦すことのできない罪などないこと、イエス様が与えた愛より偉大な愛はないことを思い出してください。神様は、私達はその犠牲、その赦し、その愛を生き方で示してほしいと願っています。そうすれば、あなたの生き方とおして、他の人が十字架の力と神の御国の命を体験するでしょう。